

## 2025年度

### 二チキッズ出水中央保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月9日（金）～2月7日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月25日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念を十分理解し、子ども一人ひとりの気持ちを受け止め、寄り添う事、子どもの気持ちを汲み取る事の大切さを理解し、全職員が同じ方向に向かって取り組んだ。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの発達や月齢に応じた援助の仕方を考え、保育計画に取り入れながら、保育内容の充実を図った。また日々笑顔で接することで安心して生活できる環境作りに努めた。
保護者に対する支援	送迎の際に、その日の子どもの様子を伝えることで、園と家庭と間の信頼関係を築くように意識した。また、行事を通して子どもの様子を実際に見てもらうことで、共に成長を喜び合うことができた。要望などをいただいた際は職員間で共有し、改善に努めた。
保育を支える組織的基盤	保育の質の向上を目指し、外部研修への積極的な参加、また園内研修やMTGを充実させ、職員同士の意識向上を図った。また、外部関係機関に協力していただき、専門性の向上に努めた。

総評
年間通して、個々の発達の違い一人ひとりのペースを理解し、子どもの気持ちに寄り添った関りを大切にして保育に取り組むことが出来、子ども達や職員の笑顔がたくさん見られた一年だった。また、関係機関との連携に力を入れ、今必要な関り、これからの発達を見据えた関りを学びながら職員間でも共有することが出来た。行事においては、新しく取り入れた行事もあり、保育に活かすことが出来た。また運動会、発表会は、子どもの年齢、発達に合わせたプログラムを組むことで、思いっきり親子で楽しめていたように思う。次年度に向けて、家庭と園との信頼関係をより一層大切にしながら、子ども達の更なる成長に関わっていきたい。